

日本統合失調症学会機関誌

Official Journal of Japanese Society of Schizophrenia Research (JSSR)

統合失調症研究

Schizophrenia Research

第7巻 第1号

第12回 日本統合失調症学会

The 12th Annual Meeting of Japanese Society of Schizophrenia Research

プログラム・抄録集

ひとりひとりが輝くために…
～羽ばたこう 次なるステージへ～

会期: 2017年 3月 24日(金)～25日(土)

会場: 米子コンベンションセンタービッグシップ

〒683-0043 鳥取県米子市末広町294 JR米子駅より徒歩5分

会長: 兼子 幸一 (鳥取大学医学部精神科教授)

日本統合失調症学会

Japanese Society of Schizophrenia Research (JSSR)

The 12th Annual Meeting of Japanese Society of Schizophrenia Research

第12回 日本統合失調症学会

プログラム・抄録集

テーマ

「ひとりひとりが輝くために…
羽ばたこう、次なるステージへ～」

会 長：兼子 幸一（鳥取大学医学部脳神経医科学講座 精神行動医学分野）

会 期：平成29年（2017年）3月24日（金）・25日（土）

会 場：米子コンベンションセンター

〒683-0043 鳥取県米子市末広町294

主 催：日本統合失調症学会

後 援：鳥取県、鳥取県医師会、鳥取県作業療法士会、
鳥取県社会福祉協議会、鳥取県精神科病院協会、
鳥取県精神障害者家族会連合会、鳥取県精神保健福祉協会、
鳥取県精神保健福祉士会、鳥取県薬剤師会、
鳥取県立精神保健福祉センター、日本精神科看護協会鳥取県支部

URL：<http://jssr12.umin.ne.jp/>

第12回日本統合失調症学会 運営事務局

〒683-0851 米子市夜見町1895-3

有限会社 アクティブ・プロ

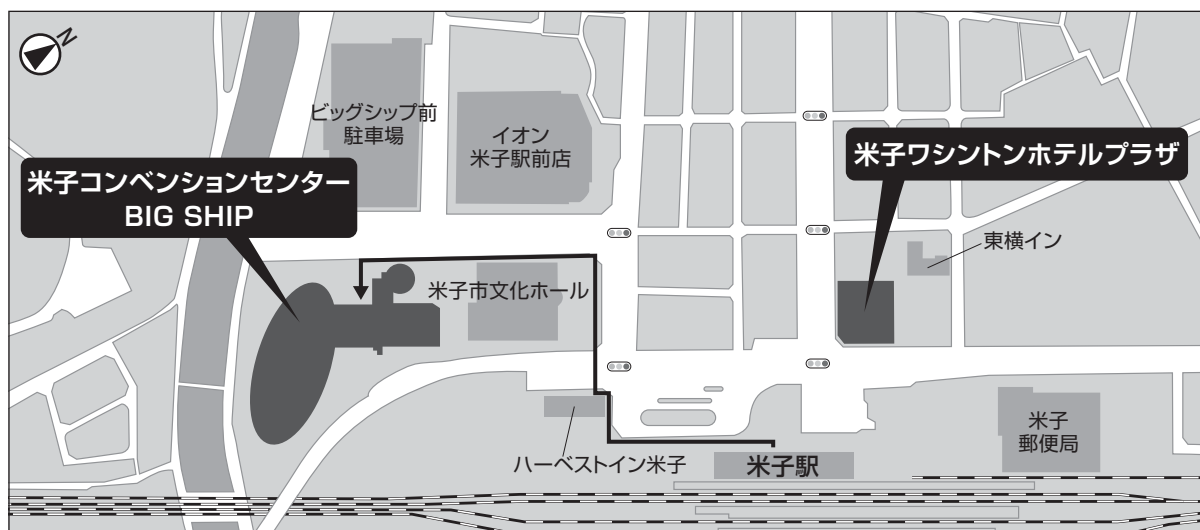
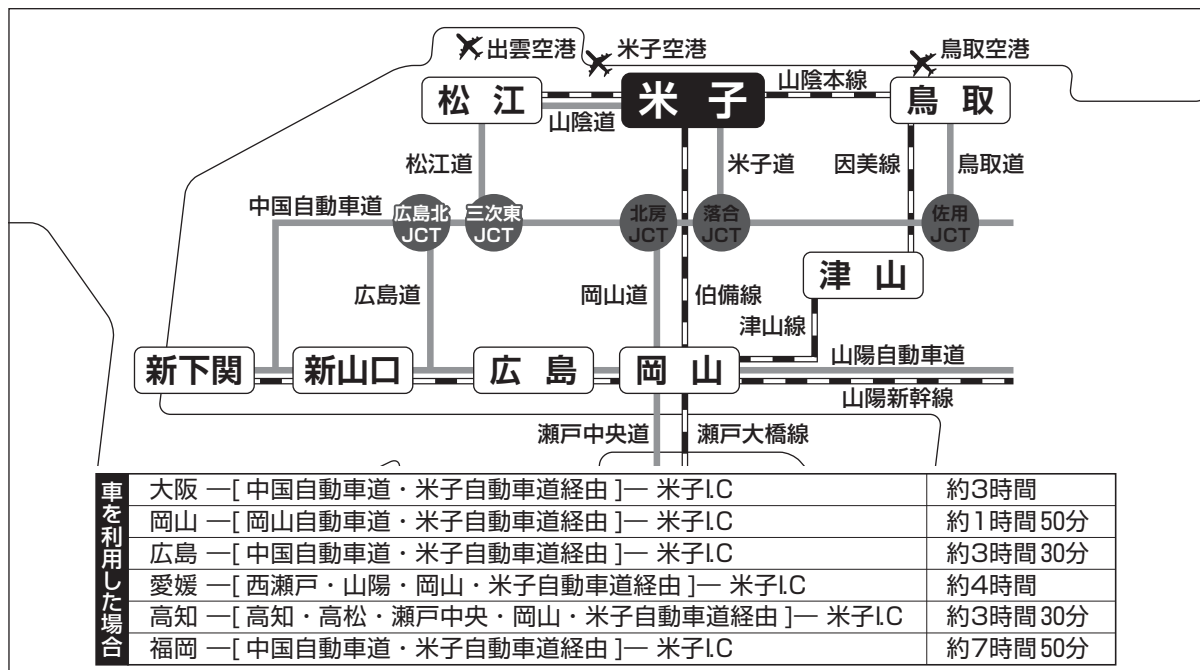
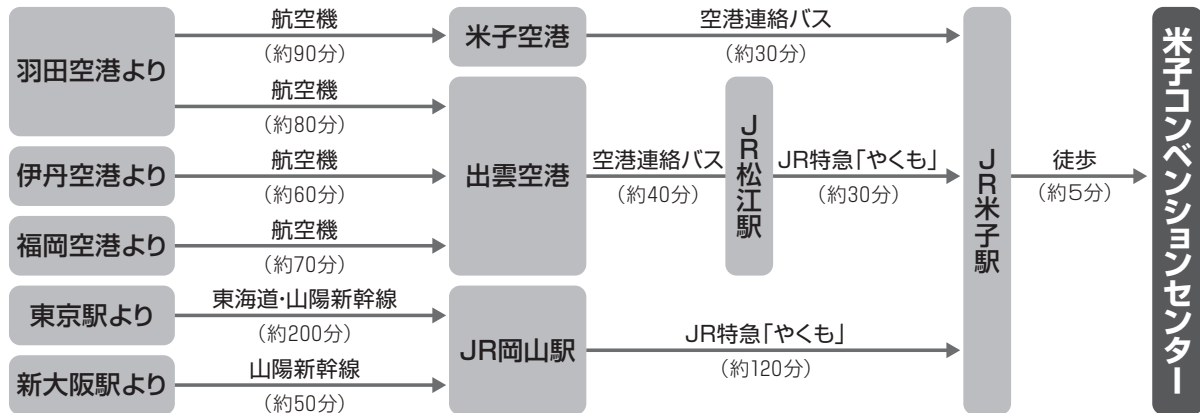
TEL：0859-48-0700 FAX：0859-48-0600

E-mail：jssr12@act-p.net

会場アクセス

■ 会 場：米子コンベンションセンター BIG SHIP

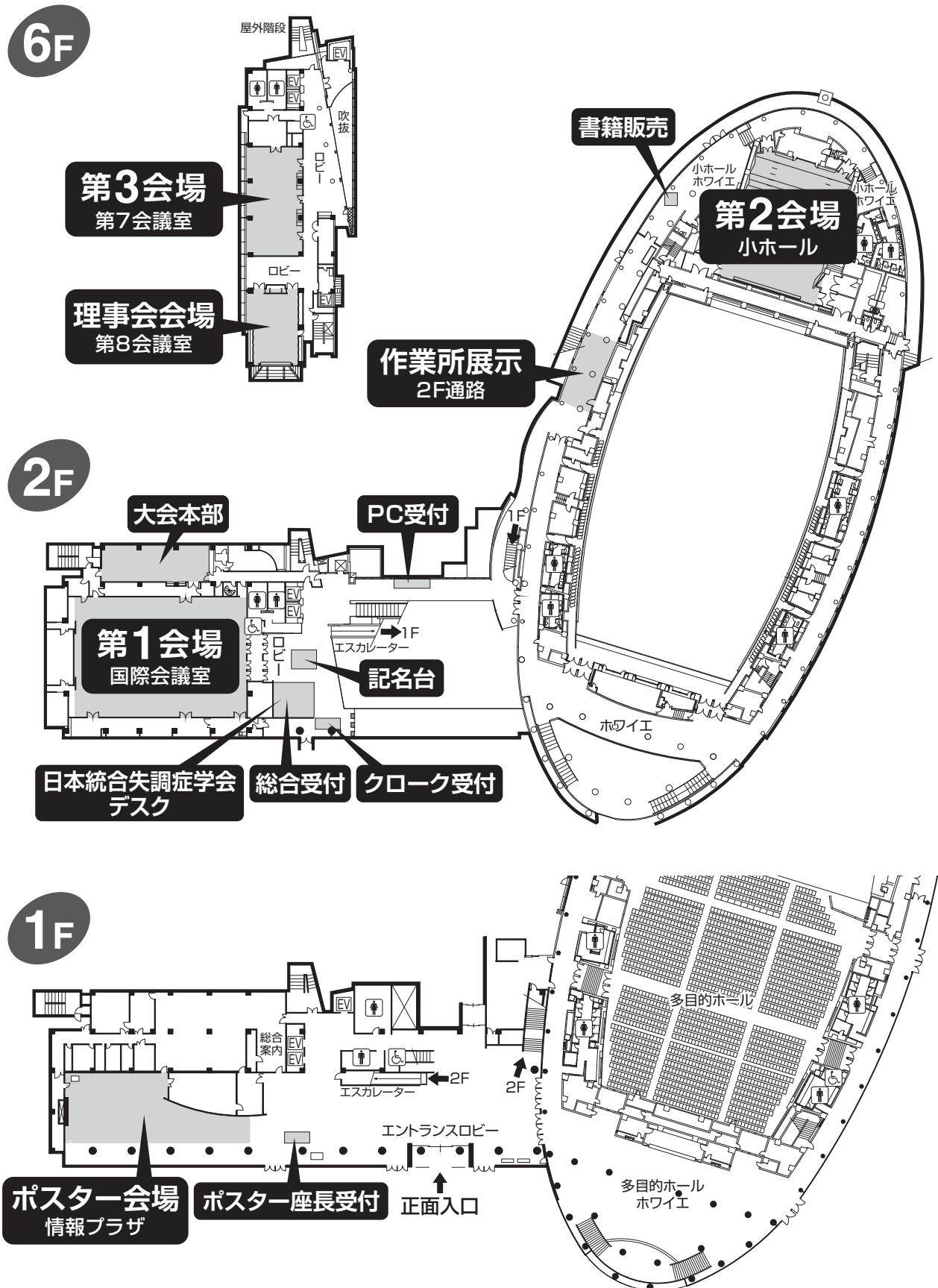
〒683-0043 鳥取県米子市末広町294 TEL:0859-35-8111 FAX:0859-39-0700
http://www.bigship.or.jp/



■ 駐車場のご案内 ビッグシップ前立体駐車場 (米子駅前簡易駐車場・3階建) ※学会参加の皆様 (主催者様・参加者様など) は、各会場に設置してある駐車券の割引認証機の処理にて、ご利用時間内の駐車料金は無料となります。

会場案内図

米子コンベンションセンター



1日目 **3月24日金** 米子コンベンションセンター

	第1会場 2F 国際会議室	第2会場 2F 小ホール	第3会場 6F 第7会議室	ポスター会場 1F 情報プラザ
9:00	9:00～9:25 開会式・総会・評議員会			9:00～12:30
9:30	9:30～10:55 シンポジウム1 認知リハビリテーションの 現状と課題 座長：住吉 太幹、最上 多美子 演者：最上 多美子、岩根 達郎 菊池 安希子、根本 隆洋	9:30～10:55 シンポジウム2 心と身体を結ぶ —統合失調症の回復を 助ける研究とは 座長：鬼塚 俊明、糸川 昌成 演者：鬼塚 俊明、糸川 昌成 吉川 武男、宮田 淳		ポスター貼付
10:00				
11:00	11:00～11:15 表 彰 式 11:15～12:15 特別講演1 (単) Recent Progress in the Study of Negative Symptoms 座長：丹羽 真一 演者：Brian Kirkpatrick			
12:00		座長：笠井 清登 演者：岡田 久実子、熊倉 陽介 共催：大日本住友製薬株式会社		
13:00	12:30～13:25 ランチョンセミナー1 患者さんの身体リスク (身体的健康)を考える	12:30～13:25 ランチョンセミナー2 Cognitive Remediation 統合失調症の認知矯正療法	12:30～13:25 ランチョンセミナー3 統合失調症の親を持つ子どもを中心 とした家族に対するサポートとケア ～家族の思い、児童精神科医としての 気づき～	
14:00	13:30～14:30 教育講演1 リハビリテーションに向けて —陰性症状の治療と支援 座長：松本 和紀 演者：池淵 恵美	座長：村上 忠 演者：最上 多美子 共催：ヤンセンファーマ株式会社 メディカルアフェアーズ本部	座長：尾崎 紀夫 演者：夏莉 郁子 共催：アステラス製薬株式会社	13:30～17:30
15:00	14:30～15:55 シンポジウム3 共同意思決定を可能にする には、何が必要か？ ～当事者・家族・専門家の それぞれの立場から 座長：向谷地 生良、西田 淳志	演者：木村 陽子、伊藤 知之 池松 麻穂、佐藤 恵美子 榎本 香苗、夏莉 郁子	14:30～16:45 ワークショップ 統合失調症の 認知機能障害を 15分で誰でも簡単に 測定できる実習コース 司会：橋本 亮太	ポスター閲覧
16:00	16:00～16:55 教育講演2 認知機能と報酬機能を支える ドーパミン神経系の生理学的基盤 座長：宮田 淳 演者：松本 正幸	16:00～17:25 シンポジウム4 統合失調症薬物療法の 最新トピックス 座長：久住 一郎、大森 哲郎 演者：鈴木 雄太郎、住吉 太幹 沼田 周助、橋本 直樹		
17:00				
18:00	17:30～18:30 サテライトシンポジウム 精神障害が重いために地域 生活に困難をかかえる患者： つぐらない工夫、支える工夫	座長：堀井 茂男、渡辺 憲 演者：安西 信雄、高橋 一志 共催：PPST研究会・ 大塚製薬株式会社		17:30～18:55 ポスター セッション1
19:00	19:00～20:30 懇 親 会	会場：米子コンベンションセンター 1F ル・ポルト		18:55～19:10 ポスター撤去
20:30				

2日目

3月25日土

米子コンベンションセンター

	第1会場 2F 国際会議室	第2会場 2F 小ホール	第3会場 6F 第7会議室	ポスター会場 1F 情報プラザ
9:00	9:00～10:00 (単) 会長講演 ひとりひとりが輝くための 統合失調症学 座長：大森 哲郎 演者：兼子 幸一			9:00～10:30 ポスター貼付
10:00	10:05～11:00 教育講演3 前頭皮質における錐体細胞と 抑制スタイルの多様性 座長：兼子 幸一 演者：川口 泰雄	10:05～11:20 シンポジウム5 未来に向けた精神医療・リカバ リーに向けた取り組みの紹介 座長：笠井 清登、平安 良雄 演者：山口 創生、金原 明子 中村 亮太		10:30～12:30 ポスター閲覧
11:00	11:25～12:25 (単) 特別講演2 統合失調症の難治性の 克服に向けて 座長：鈴木 道雄 演者：倉知 正佳			
12:00	12:30～13:25 ランチョンセミナー4 統合失調症の薬物治療の 問題点を考える 座長：北川 航平 演者：吉尾 隆 共催：Meiji Seika ファルマ株式会社		12:30～13:25 ランチョンセミナー5 統合失調症における糖代謝 障害の予防 ～血糖モニタ リングガイダンスの実践 座長：大森 哲郎 演者：久住 一郎 共催：大塚製薬株式会社	
13:00				13:30～14:55 ポスター セッション2
14:00				
15:00	15:00～16:00 教育講演4 統合失調症の 概念・病態・治療 座長：堀口 淳 演者：村井 俊哉	座長：岩田 正明、牧之段 学 演者：牧之段 学、加藤 隆弘 朴 盛弘		15:00～16:00 ポスター撤去
16:00	16:00～16:55 シンポジウム6 次世代を担う中堅研究者から の発信 ―統合失調症と自閉 スペクトラム症の類似性と相違	16:00～16:55 教育講演5 当事者の視点に沿った 統合失調症の理解と支援 座長：西岡 和郎 演者：福田 正人		
17:00	17:00～17:15 閉会式			
18:00		17:30～19:00 市民公開講座 司会：兼子 幸一、原田 豊 1部(50分):「相方は、統合失調症」 松本ハウス 2部(40分):「病気になるっても 夢と希望を持って輝きたい」 濱崎 ひとみ(当事者)、濱崎 智熙 (鳥取県精神障害者家族会連合会 会長)		
19:00				

平成27年度学術賞受賞者

No	区 分	演題名	名 前	ご所属（※受賞時）
1	Travel Award	Immunoreactivity Serum Neuregulin 1 and SNP8NRG433E1006 Neuregulin-1 in Bataks Ethnic with Schizophrenia Paranoid and Bataks Ethnic Healthy Control	Effendy Elmeida	Psychiatry Department, University of Sumatera Utara
2	Travel Award	Functional connectivity and striatal dopamine synthesis in schizophrenia treated with antipsychotic drugs : multimodal imaging study using [18F] DOPA PET and resting MRI	Kim Euitae	Department of Neuropsychiatry, Seoul National University Bundang Hospital
3	Travel Award	Duration of Untreated Psychosis and Brain Function during Verbal Fluency Testing in First-Episode Schizophrenia : A Near-Infrared Spectroscopy Study	Chou Po-Han	1. Department of Psychiatry, Taichung Veterans General Hospital, Taichung, Taiwan, ROC. 2. Department of Psychiatry, Faculty of Medicine, National Yang-Ming University, Taipei, Taiwan.
4	Travel Award	Psychosocial functioning in Thai patients with schizophrenia : Are some symptoms or demographic characteristics predictors across the functioning domains ?	Suttajit Sirijit	Chiang Mai University, Chaing Mai, Thailand
5	一般演題賞 優秀賞	統合失調症の早期段階におけるミスマッチ陰性電位と認知・社会機能との関連解析	越山 太輔	東京大学大学院医学系研究科 精神医学分野
6	一般演題賞 奨励賞	精神科病院入院中の統合失調症患者に対する IMR (Illness Management and Recovery) の効果検討～海馬、海馬傍回、帯状回における灰白質体積増加の可能性	中村 亮太	横浜市立大学 医学部 精神医学教室
6	一般演題賞 奨励賞	Hypermethylation of SLC6A4 promoter in psychiatric disorders suppresses its expression	池亀 天平	東京大学大学院医学系研究科 分子精神医学講座／東京大学大学院医学系研究科 精神医学
No	区 分	研究の主題	名 前	ご所属
7	学術賞 医学分野	統合失調症における進行性脳変化と IQ の変化との関連についての研究	久保田 学	国立研究開発法人 放射線医学総合研究所 分子イメージング研究センター
8	学術賞 医療福祉分野	統合失調症を含む精神障害者に対するスティグマとその是正に向けた戦略の科学的検証	山口 創生	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 社会復帰研究部

プログラム

第1日目 2017年3月24日(金)

第1会場(2F 国際会議室)

開会式・総会・評議員会 9:00～9:25

シンポジウム1 9:30～10:55

座長：住吉 太幹(国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
トランスレーション・メディカルセンター)

最上 多美子(鳥取大学大学院医学系研究科 臨床心理学専攻)

〔認知リハビリテーションの現状と課題〕

SY1-1 動機づけに焦点をあてた認知リハビリテーション

○最上 多美子

鳥取大学大学院医学系研究科 臨床心理学専攻

SY1-2 デイケアでの NEAR の実際

○岩根 達郎

京都府立洛南病院 リハビリテーション部門

SY1-3 社会認知のトレーニング

○菊池 安希子

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター

SY1-4 統合失調症の早期段階および急性期における認知リハビリテーション

○根本 隆洋

東邦大学医学部 精神神経医学講座

表彰式 11:00～11:15

特別講演1 11:15～12:15

単位取得講演

座長：丹羽 真一(福島県立医科大学 会津医療センター 精神医学講座)

〔Recent Progress in the Study of Negative Symptoms〕

Brian Kirkpatrick University of Nevada, Reno School of Medicine

座長：笠井 清登（東京大学大学院医学系研究科 精神医学分野）

〔 患者さんの身体リスク（身体的健康）を考える 〕

LS-1-1 統合失調症になってもだいじょうぶな社会を願って

岡田 久実子 さいたま市精神障がい者もくせい家族会

LS-1-2 こころと身体を健康を人々に届ける

熊倉 陽介 東京大学大学院医学系研究科 精神保健学分野

教育講演1 13:30～14:30

座長：松本 和紀（東北大学大学院 医学系研究科 精神神経学分野）

〔 リカバリーに向けて 一陰性症状の治療と支援 〕

池淵 恵美 帝京大学医学部 精神神経科学講座

シンポジウム3 14:30～15:55

座長：向谷地 生良（北海道医療大学大学院看護福祉学研究科）

西田 淳志（東京都医学総合研究所 心の健康プロジェクト）

〔 共同意思決定を可能にするには、何が必要か？ ～当事者・家族・専門家のそれぞれの立場から 〕

SY3-1 家族が共同意思決定に関われる可能性

木村 陽子 アリシアの会

SY3-2 浦河べてるの家 ー共同意思決定を可能にするには何が必要か？

社会福祉法人 浦河べてるの家

- ①伊藤 知之 当事者の立場から
- ②池松 麻穂 ソーシャルワーカーの立場から
- ③佐藤 恵美子 家族の立場から

SY3-3 臨床における『当事者研究』

檜本 香苗 三重大学精神科

SY3-4 当事者と家族と医療者が、それぞれの立場の違いを理解しながら 共同することは可能なのか？

夏莉 郁子 やきつべの径診療所

〔当事者の視点に沿った統合失調症の理解と支援〕

福田 正人 群馬大学大学院医学系研究科 神経精神医学

市民公開講座 17:30～19:00

司会：兼子 幸一（鳥取大学医学部 脳神経医科学講座 精神行動医学分野）
原田 豊（鳥取県立精神保健福祉センター）

1部（50分）〔相方は、統合失調症〕

松本ハウス サンミュージックプロダクション

2部（40分）〔病気になっても夢と希望を持って輝きたい〕

濱崎 ひとみ 当事者
濱崎 智熙 鳥取県精神障害者家族会連合会 会長

第3会場（6F 第7会議室）

ランチョンセミナー5 12:30～13:25

共催：大塚製薬株式会社

座長：大森 哲郎（徳島大学大学院 医歯薬学研究部 精神医学分野）

〔統合失調症における糖代謝障害の予防 ～血糖モニタリングガイダンスの実践〕

久住 一郎 北海道大学大学院医学研究科 神経病態学講座 精神医学分野

ポスターセッション1 プログラム

第1日目 2017年3月24日(金) 17:30~18:55

ポスター会場(1F 情報プラザ)

P1-1 [分子・遺伝子・ブレインバンク] 17:30~18:55

座長: 吉川 武男(理化学研究所 脳科学総合研究センター 分子精神科学研究チーム)

P1-1-1 Elevated plasma orexin A levels may be associated with more favorable symptom profile in schizophrenia

○Yi-Ling Chien

Department of Psychiatry, National Taiwan University Hospital

P1-1-2 C-reactive protein and schizophrenia: A Mendelian Randomization approach

○Masatoshi Inoshita¹⁾, Atsushi Tajima²⁾, Makoto Kinoshita¹⁾, Hidehiro Umehara¹⁾, Masahito Nakataki¹⁾, Masashi Ikeda³⁾, Souichiro Maruyama⁴⁾, Hidenaga Yamamori⁵⁾, Tetsufumi Kanazawa⁴⁾, Shinji Shimodera⁶⁾, Ryota Hashimoto⁵⁾, Issei Imoto⁷⁾, Hiroshi Yoneda⁴⁾, Nakao Iwata³⁾, Shusuke Numata¹⁾, Tetsuro Ohmori¹⁾

1) Department of Psychiatry, Institute of Biomedical Sciences, Tokushima University Graduate School, Tokushima, Japan.

2) Department of Bioinformatics and Genomics, Kanazawa University, Ishikawa, Japan.

3) Department of Psychiatry, School of Medicine, Fujita Health University, Aichi, Japan.

4) Department of Neuropsychiatry, Osaka Medical College, Osaka, Japan.

5) Department of Psychiatry, Osaka University Graduate school of Medicine, Osaka, Japan.

6) Department of Neuropsychiatry, Kochi Medical School, Kochi University, Kochi, Japan.

7) Department of Human Genetics, Institute of Biomedical Science, Tokushima University Graduate School, Tokushima, Japan

P1-1-3 統合失調症血液マーカー候補タンパク質: 遊離免疫グロブリン軽鎖(FLC)の測定法

○大西 新^{1,2)}、前田 忠計³⁾

1) 北里大学 理学部 物理学、2) 株式会社 RESVO、3) 北里大学名誉教授

P1-1-4 質量分析法を用いた統合失調症関連脂質の探索

○島本 知英¹⁾、大西 哲生¹⁾、江崎 加代子¹⁾、前川 素子¹⁾、渡辺 明子¹⁾、豊島 学¹⁾、杉山 栄二³⁾、大和田 祐二²⁾、瀬藤 光利³⁾、吉川 武男¹⁾

1) 理研 BSI 分子精神科学研究チーム、2) 東北大学 医学部 器官解剖学、3) 浜松医大 解剖学 細胞生物学

P1-1-5 Variability of 128 Schizophrenia-Associated Gene Variants across Distinct Ethnic Populations

○Kazutaka Ohi, Takamitsu Shimada, Toshiki Yasuyama, Takashi Uehara, Yasuhiro Kawasaki

Department of Neuropsychiatry, Kanazawa Medical University, Ishikawa, Japan

P1-1-6 患者由来 iPS 細胞を用いた神経発達障害に関わる miRNA の分子病態の解明

○豊島 学¹⁾、赤松 和土^{2,3)}、岡田 洋平^{2,4)}、大西 哲生¹⁾、岡野 栄之²⁾、吉川 武男¹⁾

1) 理化学研究所 脳科学総合研究センター 分子精神科学研究チーム、2) 慶應義塾大学 医学部 生理学教室、

3) 順天堂大学 大学院医学研究科 ゲノム・再生医療センター、4) 愛知医科大学 医学部 内科学講座

P1-1-7 死後脳内において高頻度にコピー数多型(CNV)が観察された統合失調症3症例の臨床的特徴について

○長岡 敦子¹⁾、國井 泰人²⁾、松本 純弥¹⁾、和田 明^{1,3)}、日野 瑞城¹⁾、丹羽 真一²⁾、那波 宏之⁴⁾、高橋 均⁵⁾、柿田 明美⁶⁾、赤津 裕康^{7,8)}、橋詰 良夫⁸⁾、山本 左近⁸⁾、尾関 祐二⁹⁾、矢部 博興¹⁾

1) 福島県立医科大学 神経精神医学講座、2) 福島県立医科大学 会津医療センター 神経精神医学講座、3) 東京大学医学部附属病院 精神神経科、4) 新潟大学脳研究所 基礎神経科学部門 分子神経生物学分野、5) 新潟大学脳研究所 病態神経科学部門 病理学分野、6) 新潟大学脳研究所 脳科学リソース研究部門 脳疾患標本資源解析学分野、7) 名古屋市立大学大学院医学研究科 地域医療教育学 / 地域療養医学、8) 医療法人さわらび会 福祉村病院 長寿医学研究所 / 神経病理研究所、9) 獨協医科大学 精神神経医学講座

P1-1-8 統合失調症における血漿中 sTNFR2・MMP-9と臨床症状・認知機能との関わり

○山森 英長¹⁾、石間 環²⁾、工藤 紀子¹⁾、根本 清貴³⁾、安田 由華^{1,4)}、藤本 美智子¹⁾、畦地 裕統¹⁾、新津 富央⁵⁾、沼田 周助⁶⁾、池田 学¹⁾、伊豫 雅臣⁵⁾、大森 哲郎⁶⁾、福永 雅喜⁷⁾、渡邊 嘉之⁸⁾、橋本 謙二²⁾、橋本 亮太^{1,9)}

1) 大阪大学大学院 医学系研究科 情報統合医学講座 精神医学教室、2) 千葉大学 社会精神保健教育研究センター 病態解析研究部門、3) 筑波大学 医学医療系臨床医学域 精神神経科、4) 大阪大学医学部附属病院 オンコロジーセンター、5) 千葉大学大学院 医学研究院 精神医学教室、6) 徳島大学医学部 歯歯薬学研究部 精神医学分野、7) 生理学研究所 大脳皮質機能研究系 心理生理学研究部門、8) 大阪大学大学院 医学系研究科 放射線統合医学講座 放射線医学教室、9) 大阪大学大学院 連合小児発達学研究科 附属子どものこころの分子統御機構研究センター

P1-1-9 母体の妊娠早期糖尿病罹患と10歳児の精神病症状体験・抑うつとの縦断的関連

○山崎 修道¹⁾、安藤 俊太郎^{1,2)}、小池 進介^{1,3)}、藤川 慎也^{1,2)}、金田 渉^{1,4)}、遠藤 香織¹⁾、森本 裕子¹⁾、宇佐美 慧⁵⁾、長谷川 真理子⁶⁾、笠井 清登²⁾、西田 淳志¹⁾

1) 公益財団法人 東京都医学総合研究所 心の健康プロジェクト、2) 東京大学 大学院医学系研究科 脳神経医学専攻、3) 東京大学 こころの多様性と適応の統合的研究機構、4) 帝京大学 医学部附属病院 メンタルヘルス科、5) 筑波大学 大学院人間総合科学研究科、6) 総合研究大学院大学 先端科学研究科

P1-2 [生理・機能画像] 17:30～18:55

座長：朴 盛弘(鳥取大学医学部 脳神経医科学講座 精神行動医学分野)

P1-2-1 Reduced Language Lateralization in First Episode Schizophrenia: A Near Infrared Spectroscopy

○Wei-Hao Lin

Department of Psychiatry, Taichung Veterans General Hospital, Taichung, Taiwan, ROC

P1-2-2 Aberrant temporal behavior of mismatch negativity generators in schizophrenia patients and subjects at clinical high risk for psychosis

○Minah Kim

Department of Psychiatry, Seoul National University College of Medicine, Seoul, Republic of Korea

P1-2-3 精神障害の早期段階におけるミスマッチ陰性電位の縦断研究

○越山 太輔¹⁾、切原 賢治¹⁾、多田 真理子¹⁾、永井 達哉¹⁾、荒木 剛²⁾、笠井 清登¹⁾

1) 東京大学大学院 医学系研究科 精神医学分野、2) 東京大学大学院 医学系研究科 ユースメンタルヘルス講座

P1-2-4 統合失調症患者を対象に脳磁計を用いた単一課題中の duration/frequency MMN の測定

○管 心^{1,2)}、西村 幸香²⁾、川久保 友紀³⁾、湯本 真人⁴⁾、笠井 清登²⁾

1) 東京大学 医学部 附属病院 リハビリテーション部、2) 東京大学 医学部 精神医学教室、3) 東京大学 医学部 附属病院 こころの発達診療部、4) 東京大学 医学部 附属病院 臨床検査部

P2-2-1 統合失調症患者の認知機能と社会機能との関連

○富永 武男¹⁾、友竹 正人²⁾、武田 知也³⁾、大森 哲郎¹⁾

- 1) 徳島大学大学院 医歯薬学研究部 精神医学分野、
2) 徳島大学大学院 医歯薬学研究部 メンタルヘルス支援学分野、3) 徳島大学病院 精神科神経科

P2-2-2 統合失調症患者の社会機能と抗精神病薬服用量の関連

○福田 弘子¹⁾、占部 美恵¹⁾、北島 謙吾¹⁾、水野 正延²⁾

- 1) 京都府立医科大学 医学部 看護学科、2) 中部学院大学

P2-2-3 A 病院におけるメタ認知訓練法の効果の検討

○江口 聡¹⁾、管 心²⁾、藤枝 由美子²⁾、夏堀 龍暢³⁾、山崎 修道⁴⁾、笠井 清登⁵⁾

- 1) 東京大学 医学部附属病院 こころの発達診療部、2) 東京大学 医学部附属病院 リハビリテーション部、
3) 祐ホームクリニック、4) 東京都医学総合研究所、5) 東京大学 医学部附属病院 精神神経科

P2-2-4 Differences in social functioning among patients with major psychiatric disorders

○Takamitsu Shimada, Kazutaka Ohi, Toshiki Yasuyama, Takashi Uehara,
Yasuhiro Kawasaki

Department of Neuropsychiatry, Kanazawa Medical University, Ishikawa, Japan

P2-2-5 自己感の生起によりトレンデレンブルグ歩行が改善した一症例

○山中 遼平¹⁾、加賀野井 聖二^{2,3)}

- 1) 訪問看護ステーションげいせい、2) 医療法人おくら会 芸西病院 リハビリテーション部、
3) 高知大学 総合人間自然科学研究科 博士課程 医学専攻

P2-2-6 精神科病棟の患者に対するマインドフルネス療法の効果の持続について

○杉浦 久美子、美濃部 るり子、福岡 透、飯島 康子、中村 純子、渡邊 弘、樋口 進
独立行政法人 国立病院機構 久里浜医療センター

P2-2-7 EGUIDE プロジェクト

—精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究—

○橋本 亮太^{1,2)}、EGUIDE プロジェクト チームメンバーズ^{1,2)}

- 1) 大阪大学大学院 連合小児発達学研究科 附属子どものこころの分子統御機構研究センター、
2) 大阪大学大学院 医学系研究科 精神医学教室

P2-3-1 精神障害をもつ人々の回復の語りのテキストマイニング：

メンタルヘルスマガジン『こころの元気+』100の表紙モデル記事における話題の特徴

○小平 朋江¹⁾、いとう たけひこ²⁾

- 1) 聖隷クリストファー大学 看護学部、2) 和光大学 心理教育学科

P2-3-2 テキストマイニング分析を用いた精神科医療機関への支援要請過程に関する調査

○太田 和佐^{1,2)}、谷 元子²⁾、土屋 麻衣子²⁾、金原 明子²⁾、多田 真理子²⁾、管 心²⁾、小池 進介³⁾、笠井 清登²⁾

1) 東京大学 大学院総合文化研究科、2) 東京大学 大学院医学系研究科 精神医学分野、
3) 東京大学 こころの多様性と適応の統合的研究機構

P2-3-3 ピアスタッフと協働した共同意思決定システムの効果：無作為化比較臨床試験

○山口 創生¹⁾、種田 綾乃¹⁾、松長 麻美¹⁾、佐々木 奈都記¹⁾、水野 雅之¹⁾、澤田 優美子²⁾、坂田 増弘³⁾、福井 里江⁴⁾、久永 文恵⁵⁾、伊藤 順一郎¹⁾

1) 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 社会復帰研究部、
2) 日本社会事業大学 大学院 社会福祉コース、3) 国立精神・神経医療研究センター病院、
4) 東京学芸大学 教育心理学講座、5) 認定 NPO 法人 地域精神保健福祉機構

P2-3-4 当事者研究を行った統合失調症当事者一家族に関する検討 一 家族イメージ法 (FIT) と家族に関する質問紙を用いて一

○齋藤 優紀

放送大学大学院文化科学研究科

P2-3-5 認知機能の評価と家族の感情表出および QOL の関連の検討

○中坪 太一郎¹⁾、稲本 淳子²⁾、常岡 俊昭²⁾、中村 暖²⁾、堀内 健太郎²⁾、湯田 初²⁾、池田 朋広²⁾、杉沢 諭³⁾、三村 将⁴⁾、加藤 進昌²⁾

1) 淑徳大学 総合福祉学部 実践心理学科、2) 昭和大学 医学部 精神医学講座、
3) 昭和大学 薬学部 病院薬剤学講座、4) 慶應義塾大学 医学部 精神神経科学教室

P2-3-6 統合失調症者家族の年代別生きがい感と家族機能の特徴

○川添 郁夫

弘前大学 大学院 保健学研究科

P2-3-7 統合失調症者の父親への PAC 分析 一 衝動的な暴力と迷惑行為に対処した振り返りからの気づき一

○川添 郁夫

弘前大学 大学院 保健学研究科

P2-3-8 「こころのリスク外来」メール受診相談における PRIME-J スクリーニングの活用

○土屋 麻衣子¹⁾、谷 元子¹⁾、金原 明子¹⁾、太田 和佐¹⁾、小池 進介²⁾、笠井 清登¹⁾

1) 東京大学大学院 医学系研究科 精神医学分野、2) 東京大学 こころの多様性と適応の統合的研究機構

P2-4 [臨床・症例] 13:00~14:25

座長：小林 孝文(島根県立こころの医療センター)

P2-4-1 統合失調症へのスティグマはどこから解消されるか？

ランダム化比較試験の追加解析より

○小池 進介¹⁾、山口 創生²⁾、小塩 靖崇¹⁾、安藤 俊太郎³⁾

1) 東京大学 こころの多様性と適応の統合的研究機構、2) 国立精神・神経医療研究センター、
3) 東京都医学総合研究所

P2-4-2 入院中に自殺既遂した統合失調症患者の特徴(大規模多施設調査)

○井上 佳祐¹⁾、大塚 耕太郎³⁾、張 賢徳⁴⁾、石井 貴男¹⁾、平安 良雄²⁾、河西 千秋¹⁾

1) 札幌医科大学 神経精神医学講座、2) 横浜市立大学 精神医学教室、
3) 岩手医科大学 神経精神科学講座、4) 帝京大学医学部附属溝口病院 精神神経科

P2-4-3 ピアスタッフ導入に向けての取り組み ～A 病院デイケアでのニーズ調査～

○藤枝 由美子¹⁾、石橋 綾¹⁾、矢島 明佳¹⁾、清水 希実子¹⁾、管 心^{1,2)}、金原 明子²⁾、石浦 朋子²⁾、宮本 有紀³⁾、近藤 伸介²⁾、笠井 清登²⁾

1) 東京大学 医学部 附属病院 リハビリテーション部、2) 東京大学 医学部 精神医学教室、
3) 東京大学 大学院医学系研究科 精神看護学分野

P2-4-4 F06.2器質性妄想性〔統合失調症様〕障害との鑑別が必用な F25.2統合失調感情障害混合型の一症例

○石川 文之進¹⁾、鈴木 三夫¹⁾、石川 玄子¹⁾、石川 経子¹⁾、中村 正明¹⁾、原田 元²⁾、齋藤 陽一²⁾、植木 彰³⁾

1) 医療法人 報徳会 宇都宮病院、2) 脳波計量解析研究所、3) 元自治医科大学神経内科教授

P2-4-5 幻聴により自傷行為を繰り返す統合失調症患者へのアプローチ ～発達段階に沿った看護介入により生きがいを見いだせた一事例～

○大江 さゆり

鳥取大学医学部附属病院 病棟 1 階 B

P2-4-6 入退院を繰り返す統合失調症患者が地域での生活を維持していくための関わり

○松崎 千里、森本 玲子、松本 里美、小田 易史、窪田 理恵、中西 恵子、田村 陽子、内野 宏子、大原 由子、安岡 久美子

社会医療法人 明和会医療福祉センター 渡辺病院

P2-4-7 怠薬が原因で再入院を繰り返す患者の退院支援 ～訪問看護の導入を試みて～

○金村 延子

鳥取大学医学部附属病院 病棟 1 階 B

P2-4-8 知的障害を有する覚せい剤精神病にプロナンセリンが有効であった 二症例についての検討

○岡崎 康輔、山内 崇平、牧之段 学、岸本 年史

奈良県立医科大学 医学部 精神科

抄 録

ポスターセッション 抄 録

日本統合失調症学会機関誌 統合失調症研究
第7巻 第1号

2017年(平成29年)3月1日

日本統合失調症学会 事務局
〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学医学部附属病院 精神神経科内
E-mail : jssr-gakkai@umin.ac.jp
Fax : 03-5800-9162